

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12310	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	相模原衛生学院運営費補助金			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第1施策	地域医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

看護師等養成施設運営費補助金交付要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
看護師の養成・確保を図るため、相模原衛生学院看護専門学校を運営する事業に対し助成する。	相模原衛生学院看護専門学校
	対象数 1施設
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
施設の概要 ・名称 相模原衛生学院看護専門学校 ・所在地 相模原市富士見1-3-41(平成15年4月に相模原市新磯野4-1-1に移転) ・種別 准看護師から看護師になるコース ・就業年数 3年(定時制) ・学生数 1年40人、2年50人、3年50人 計140人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	市内就職率(%)	市内就職者数/卒業生×100	市内就職率を指標とする	61	54	57		
	活動指標	合格者数/卒業生数×100	国家試験合格者を指標とする	70	86	89		

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	23,647	23,344	20,715	41,534	41,534
人員・時間数	1.5人/年	1.5人/年	2人/年	1人/年	1人/年
人件費	9,000	9,000	12,000	6,000	6,000
その他経費	0	0	55,000	0	0
合計	32,647	32,344	87,715	47,534	47,534
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	150	150	140	130	120
対象の単位あたり経費	217.6	215.6	626.5	365.6	396.1

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	卒業生の多くは市内で就職しているため、看護師等の確保という目的は達成できていると考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 看護師等の充足率を確保するためには、看護職員を的確に育成・確保する必要があり、養成施設の運営に対する補助は必要であると考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	看護師等の確保のための事業であることから、今後も必要と思われる有効であると考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 事業の性格上費用対効果をはかることは難しいが、効率性は十分あると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市内で従事する看護師等の確保のために、医師会立の看護学校に補助を行なうことは公平性があると考えている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 今後とも需要が拡大されると予想される看護師等の確保のために、養成施設の課程の見直し等、向上の余地はあると考えている。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	
	他自治体においても類似の補助制度があり、看護職員確保対策を実施している。	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	本市として、看護師等の人材育成については、医療機関・福祉施設等今後とも需要が拡大されると予想されることから、事業継続は必要と考えている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

定時制から全日制への移行に伴う上乗せ分については、平成16年度限りとすること
--